

News Letter

地域資源（新宮茶）にこだわって村おこし

愛媛県内有数のお茶の産地・四国中央市新宮地域で新茶の収穫が行われました。

四国中央市の第三セクター「株式会社やまびこ」では、観光施設「霧の森」などを運営しています。同社の新宮茶生産室では、耕作放棄のおそれがある茶畑の管理を引き受け同社の看板商品である「霧の森大福」の原材料の茶葉を生産することで、過疎と高齢化が進む地域の産業を守っています。

「霧の森大福」は、新宮茶の抹茶を練り込んだもち生地で生クリームとあんを包んだ菓子であり、茶葉の品質と使用量が味の決め手になるため、地元で農薬に頼らず栽培した「かぶせ茶」をふんだんに使い、豊かな香りと風味を引き出しています。



新茶の収穫作業と「かぶせ茶」の新芽
(写真提供：㈱やまびこ)



茶畑へ遮光シートをかぶせた「かぶせ茶」の栽培の様子と「霧の森大福」(写真提供：㈱やまびこ)

新宮地域では65歳以上が半数以上を占め、少子高齢化が深刻であり、近い将来、担い手不足で収穫量が減るおそれがあります。

同社、企画戦略室の高野課長は、「霧の森大福に使用する茶葉はあくまでも地元新宮産。農薬に頼らず茶を栽培し続けるには手間がかかるので、栽培に興味のある人を集め、地域の活性化につなげたい。」と抱負を語られていました。

「かぶせ茶」とは、新芽が出始めた茶木の上に遮光ネットや幅2メートル、長さ約30メートルの遮光シートをかぶせ2週間以上日徐けを行い、遮光資材をはがしながら収穫を行うものです。遮光することにより茶葉の色が濃くなるほか、カテキンの渋みを抑えられるとともにアミノ酸のうま味成分が強くなるそうです。

新宮茶生産室のメンバーは6人。40歳代が中心で新宮地域の茶畑約2.3ヘクタールの管理を行い、剪定、除草、施肥といった手入れをして収穫しています。



遮光シート内の「かぶせ茶」(写真提供㈱やまびこ)

インフォメーション

「野菜を食べようプロジェクト」ポスターの募集について

農林水産省は、野菜出荷量が増加し、野菜価格が低下した際の対策として、令和元年12月に「野菜を食べようプロジェクト」を立ち上げました。「野菜を食べようプロジェクト」では、野菜を摂取することの重要性、お手軽レシピ、野菜の価格動向等を発信することで、国産野菜の利用促進を呼びかけています。

この度、国産野菜の需要をより一層喚起するため、「野菜を食べようプロジェクト」に相応しい「ポスター」のデザインを全国から広く募集します。

応募締切：令和4年7月18日（月曜日）

詳しくは、こちらをご覧ください。

（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/ryutu/220518.html>

中国四国「+（プラス）安全min」活動の周知について

○熱中症に注意しましょう！

8月にかけて、熱中症が急激に増加し、農作業中にも多数の方が亡くなっています。

○農薬は正しく使用しましょう！

農薬を使用する機会が増える6月から8月にかけて、「農薬危害防止運動」を実施します。

中国四国「+（プラス）安全min」

Vol.1-04

MAFF

★熱中症に注意しましょう！

○8月にかけて熱中症が急激に増加します。農作業中にも多数の方が亡くなっています。

○屋外の作業だけではなく、屋内でも注意が必要です。日々の健康管理に気をつけるほか、作業前・作業中の水分補給、こまめな休憩をとりましょう。

○屋外での作業時は帽子、吸汗速乾性素材の衣服、屋内では送風機やスポットクーラーなどを活用しましょう。また、単独作業は避け、家族や周りの人へ水分・塩分補給などの声かけをしましょう。

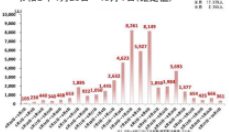
○MAFF(まふ)アプリを利用すると、スマートフォンに熱中症に関する警告が送信されます。

★MAFF(まふ)アプリのダウンロードはこちらから→



熱中症による救急搬送状況(令和3年)

「調査開始から各週の比較
令和3年4月29日～10月1日(確定値)」



※消防庁「令和3年（5月から9月）の熱中症による救急搬送状況」

農作業中の熱中症による死亡事故の発生状況

農作業中の熱中症による死亡事故の推移
(平成23～令和2年)



※農林水産省調べ（「人口動態調査」の調査票情報を用いた独自集計）

★農薬危害防止運動が始まります！

令和4年6月1日から8月31日までの間、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、「農薬危害防止運動」を実施します。

（「農薬危害防止運動」のダウンロードはこちら）→



『中国四国「+（プラス）安全min」』とは農業者等が参加する会議、集会、講習会等において、少しの間だけでも時間を割いて農作業安全の話題に触れること。「min」はminutesの略。

農林水産省
中国四国農政局

お問い合わせ：生産技術環境課
086-224-4511（内）2770
086-230-4249（夜間直通）

令和4年5月13日発行

中国四国「+（プラス）安全min」

Vol.1-05

MAFF

令和4年度 農薬危害防止運動

農薬は
周りに配慮し
正しく使用

農林水産省は、農薬を使用する機会が増える6月から8月にかけて、厚生労働省、環境省、都道府県等と共同で、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理、環境への影響に配慮した農薬の使用等を推進する「農薬危害防止運動」を実施します。

以下について、注意しましょう！！

- (1) 農薬ラベルによる使用基準の確認と使用履歴の記帳の徹底
- (2) 土壌くん蒸剤を使用した後の適切な管理の徹底
- (3) 住宅地等で農薬を使用する際の周辺への配慮及び飛散防止対策の徹底
- (4) 誤飲を防ぐため、施錠された場所に保管するなど、保管管理の徹底

令和4年度
のポスター



★詳しくはこちらから ↓



『中国四国「+（プラス）安全min」』とは農業者等が参加する会議、集会、講習会等において、少しの間だけでも時間を割いて農作業安全の話題に触れること。「min」はminutesの略。

農林水産省
中国四国農政局

お問い合わせ：生産技術環境課
086-224-4511（内）2770
086-230-4249（夜間直通）

令和4年5月27日発行

詳しくはこちらをご覧ください。

（中国四国農政局ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/chushi/seisan/anzen/index.html>

◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 愛媛県拠点

〒790-8519 松山市宮田町188番地 松山地方合同庁舎

TEL(089)932-1177(代) FAX(089)932-1872 <農政局HP>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。

<https://www.maff.go.jp/chushi/>

<https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>